

三木町百眼百考会議
第2回仲間づくり部会会議 議事概要

記

- 1 日 時 平成23年7月4日(月曜日)
開 会 午後7時00分 閉 会 午後8時50分
- 2 場 所 三木町農村環境改善センター 会議室
- 3 出席者(委員) 市原信夫 岡本由美子 穴吹和子 安元孝義
十河真樹 多田恵美子 矢野正高 吉岡満
(事務局) 宮井夕貴子 漆原翔平 松本裕司
- 4 議 事
 - ① 自治会の活動及び加入を促進するために町ができる取組みについて
 - ② 次回の会議日程及び協議事項について
- 5 配布資料
 - ・ 三木町の自治会の状況
 - ・ 四国新聞記事(国勢調査 H23. 6. 30、田中コミュニティスクール H23. 6. 19)
 - ・ コミュニティに関する研修会資料(H22. 4. 28、H23. 4. 28)
 - ・ 他市町の連合自治会の実情
- 6 会議経過
 - ・ 前回欠席した委員の自己紹介
 - ・ 座長(市原氏)が所属する平木下所自治会の実情報告
 - ・ 三木町の自治会の実情報告(事務局説明)
 - ・ 自治会の現状について意見交換
 - 自主防災組織は組織になっていないところが多い。また、有事の際に行政と自治会(地域)が連絡を取り合う体制を構築していないのは問題である。自治会組織がないと行政が助けに行けないことを知らしめるべき。
 - 防災ラジオの性能が悪い。天候が悪いと聞こえないのでは防災にならない。
 - 自治会がまとまるには、リーダーの統率力が必要。個人の時代に移行している昨今、地域をまとめるのは非常に難しい。
 - ・ 県下の連合自治会の活動報告(事務局説明)
 - ・ 自治会が連合することについて意見交換
 - 三木町では田中校区において学校と地域が一体となって活動するコミュニティスクールをやっている。少人数だからこそできるのではないか。
 - 連合化すると、各地域の悩みを話し合ったり、行政と単位自治会を繋ぐ橋渡しの役目となったりする。

人が集まるためには連合組織でイベントなどを企画するのがいいと思う。

平成 16 年の台風災害のときにも安否を確認してくれたのは近所の人だったので、やはり昔ながらの自治会は大事にしていかなければならない。

- 連合自治会の必要性について意見交換

三木は獅子の集まりが昔からあったから連合の必要性がなかったのかも。

連合自治会の結成は賛成だが、他市町の連合自治会に負けない何かをほしい。

今ある自主防災組織で連絡体制を再構築することからはじめてみてはどうか。

連合自治会ができて、リーダーとなる人がいないと有名無実となる可能性がある。ただ、地域が活性化する起爆剤となりうるので、考えてみるのもいいのでは。

昨今の課題となっている防災対策や高齢者問題などを中心に、具体的な取組みを考えていくのがよいと思う。

- 次回開催日時及び協議事項の決定

日 時：平成 23 年 7 月 20 日（水）午後 7 時から

場 所：三木町役場 101 会議室

協議事項：連合自治会の結成方法及び具体的な活動内容について